

令和7年度第2回豊川市給食センター運営委員会議事概要

- 1 開催日時 令和7年11月11日（火曜日）
午前10時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 豊川市南部学校給食センター会議室
- 3 出席者

（1）委員

会長 大江 孝一
委員 鈴木 夕香
委員 根城 一平
委員 仲田 昌弘
委員 戸荏 恵理子
委員 柴田 明日香
委員 今泉 麻美

（2）事務局

教育部長 高橋 純司
教育部次長 星野 光広
学校給食課長 吉田 信
学校給食センター所長 多比良 幸憲
南部学校給食センター所長 近藤 貴宏
学校給食係長 中村 貴之
栄養教諭 古林 郁子
栄養教諭 正木 聖子
栄養教諭 近藤 由佳

- 4 傍聴者 2名

5 議題

- （1）令和8年度の学校給食献立について
- （2）その他

6 議事の内容

○会議の成立

委員9人のうち7人出席により豊川市給食センター条例施行規則第4条第2項の規定の定足数に達し、本会が成立していることを報告

○会長あいさつ

大江教育長あいさつ

○議事の内容

会 長 議題（1）令和8年度の学校給食献立について、事務局から説明をお願い

いします。

事務局より説明

会 長 ただいま説明していただきました内容について、ご質疑、ご意見がございましたらご発言ください。

委 員 今説明してくださった献立が、来年度の分がすでにできあがっていることに本当にびっくりしましたし、すごく一生懸命やってくださっていると思いました。それで、アレルギーについて質問があります。会議資料の2ページの下に、特定原材料として、えび、かになどを書いてあります。かにが給食に出ることはなかなかないとは思いますが、わかめスープの中に小さい甲殻類が入ることについて、甲殻類アレルギーを持っている児童生徒さんがいる場合、学校では、どういうふうにされているのでしょうか。

事務局 そのようなケースでは、保護者と面談を行った際に、食べないことを確認しています。

委 員 学校現場の現状ですが、地産地消の推進ということで、本校の例で言いますと、1年生が食育のことを一生懸命やっけていまして、調理員さんや栄養士さんに学校に実際にお越しいただいてお話を聞く機会を持ったり、ミニトマトや大葉の生産農家さんにも来ていただいたりして・・・そういうようなことをして、子どもたちも理解を深めながら給食を食べさせてもらっています。

委 員 3ページの⑤「地産地消の推進」のエ、お米について、昨今、特に今年はお米がないと大騒ぎになっていたんですけれども、学校給食の現場では、大変だったとか、どうだったかお聞きしたいです。

事務局 委員のおっしゃるとおり、お米がかなり高い状況になっています。現在もスーパーに並んでいる5キロのお米が4,000円前後で売られているかと思います。少し前に備蓄米の状況があって少し値は下がりましたが、新米が出ても4,000円前後の金額に高止まりしている状態になっているかと思います。今年度の給食に提供するお米の金額につきましては、愛知県学校給食会から主食として提供していただいていますけれども、その値段が決まったのは3月の上旬でした。新年度予算として議会への説明が非常に難しい部分もありましたけれども、議決をいただいて、市として給食費全体の金額を決定しました。愛知県学校給食会は1年間を通してお米の

単価を決めていきますので、今年度のお米の単価については、相場がいくら上がろうとも下がろうとも変更はなし、決まった金額でやっていきます。翌年度のことにつきましては検討中になっておりますので、その情報がいつのタイミングで来て、どんな単価になるかということは、私たちも情報をいただかないとわからないので、今のところ見守っているという、そんな状況になっております。実は後ほど「その他」のところで報告をさせていただこうと思っていましたが、今日の中日新聞に、米価格の下落見通しというふうに報じられておりました。上がる下がるというのはいろいろな見方の中で決まって報道されてくるのかなと思いますけれども、ただ、先ほどもお話ししたとおり、安値で推移していくかどうかというのは不透明な状況になります。こういう報道があったにも関わらず下がらないということも考えられますので、現在はそこをどういうふうな形になっていくかを我々としては見守るという状況になっているのが現状でございます。

委 員 提供に関しては問題がなかったということでしょうか。

事務局 今年度の給食費に係るお米については、値段が上がっています。上がっているのを見越して、どのくらいの金額が必要かというのを決定させていただいて、議会のほうでお諮りして認めていただいたと、そんな状況です。お米の提供につきましては、愛知県産の「あいちのかおり」を提供いただいています。今のところ学校給食会の方からは安定的に供給できるとは聞いてはいますけれども、今後、気象の状況などによっては変わる可能性があることは認識しています。

委 員 第1回の委員会で食品ロスについて聞いて、ちゃんと家に展開しました。質問は、最初に、残食の量を参考にして献立作成とかそういうお話があって、3ページの⑦の「残食を減らすための工夫」についてもよく理解できました。量を調査されているんですけれども、量というのは、食べかけの量なのか、手を付けていないものも含むのか、また、傾向などがあれば教えてほしいと思います。

事務局 残食量に関しては、毎日、各学校、おかずごとに量っていますので、何月何日、どこどこ小学校のごはんは何キロ残ったという記録が全部あります。配膳されずに残ったものも、配膳されて子どもたちが残してしまったものも同じ所に返しますので、結局は、手付かずなのかというのはなかなか難しいんですけれども、給食センターに帰ってきたもの全てを計量して、残食量としてこれだけ残ったというのを数字として判断しているという形になります。その数値を見て、同じような味付けの組み合わせになってし

まっているんだなとかこの時にはふりかけがついた方が食べやすかったかもしれないということ判断したり、栄養教諭は毎日学校に出向いていますので、その時の喫食状況を見ながらやっぱりこっちの方にした方がよかったかなというふうに参考にさせていただいたりしています。

委員 めひかりとかの地産地消の話があったと思います。めひかりは小学校低学年ではなかなか蒲郡の魚とはわからないと思いますが、食べる前に学校の方で説明があるのでしょうか？

委員 アナウンスしています。

委員 うちの子がたまに、どこどこ産と言っているので、説明があるのかなと思いつつ、質問しました。わかりました。ありがとうございます。

会長 その他に、いかがでしょうか。せっくなので、各委員、感想でも、一言いただければ。

委員 この会議に出席させていただくことになって、うちでも子どもたちと給食について話す機会がすごく増えて、コミュニケーションの一つとしていい機会をいただいたなと思っています。今日も子どもたちと一緒に給食食べてくるよという話で盛り上がりました。

委員 魚に関して、積極的にいろいろな味を覚えてもらいたいということなんですが、保育園でも、今年家庭の喫食状況を確認したら、魚が、前回、3年前の調査よりも減っていて、保育園でも週に1回は食べたいねということで進めているんですが、学校給食でも進めているということで大変心強く思いました。ありがとうございます。

委員 先ほど健康チェックをやっていただいて、大変いいなと思いました。ノロウイルスは1年中あるといえども、やはり冬季に多くなる食中毒ですので、今年の傾向として、体調に変化のない、異常のない方が調理員で食中毒を起こしてしまうことがよくあると言われていています。そうすると健康チェックをやっても難しいのかもしれないですけども、食中毒予防の3原則、しっかり手を洗っていただいて、気を付けていただければと思います。

会長 それでは、議題（2）のその他について事務局から説明をお願いします。

事務局より説明

・物価上昇に伴う学校給食費の取り扱いについて

・学校給食の無償化について

・牛乳パックのリサイクル化について

会 長 ただ今の事務局からの報告について、お聞きしたことがありましたらお願いします。

委 員 学校給食費について、5ページの表を見ると、平成29年の4月は、保護者負担のみで給食を賄っていたということですね。それで、今現在は保護者負担は8年前と変わってなくて、公費の負担が、小学校、中学校それぞれ35円と40円で2段階で給食が賄えているという状態ということでしょうか。

事務局 表が見にくくて申し訳ありません。現在、令和7年7月からは、公費負担が小学校70円、中学校80円となっています。資料の35円と40円は前回からいくら増えたかという数字ですので、わかりにくくて大変申し訳ございません。

委 員 来年度からの給食無償化の詳細が明確ではない状態で質問するのは申し訳ないのですが、国としては、保護者負担のみをなくすのか、給食材料費をすべて負担してくれるのか、というのは何となくわかっているのでしょうか。

事務局 制度の設計自体が明確になっていないのでわかりませんが、先ほどお話をさせていただいた全国市長会が政府に要望している内容としては、本市、他市、他県、それぞれで金額が違うものですから、全ての給食に対して無償化をお願いしますという要望にはなっています。ただ、国が全てを賄えるかどうかはまだ結論が出ていけませんので、例えば、一定額だけということになった時に、その内訳がどうなるのかということは、今のところまだはっきりわかりません。無償化と言っているので、私の感覚としては、保護者に負担をかけさせる内容にはならないのではないかなあと思うんですけれども、明確にはなっていない状況です。

委 員 例えば、国の対応によって、献立を一から考え直すなんてことはあるのでしょうか。

事務局 基本的には、今提供している給食は、エネルギー量であったり、いろいろなことを栄養教諭が考えて提供をさせていただいています。その質とか

量を下げることが、我々としては考えにくい状況であるので、現状必要であるものをキープするというのは、崩せないなというふうに考えております。

委 員 その言葉を聞いて安心しました。給食の質は守られます。

会 長 本日の議題は全て終了いたしました。議題以外でも、委員さんからこの場でお伝えしたいことがありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

会 長 以上をもちまして、令和7年度第2回豊川市給食センター運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。